

| | | | | |
|----------------------|-------------|-----------------|-----------------|--|
| 総合的な学習の時間の指導法 | | 講義 | 教授 松下 晋 | |
| 科目カテゴリー | 教職科目 | 科目ナンバリング | 25200305 | |

1. 授業のねらい・概要

総合的な学習の時間について、その設立の趣旨及び目標並びに内容を理解するとともに、横断的・総合的な学習が図れる学習課題を設定し、指導計画が作成できる能力を身に付けさせる。

また、模擬授業等の試行を通じ、探求的な見方や考え方を培い、よりよく課題を解決し自己の生き方や社会の在り方を考えていくための資質・能力の育成を図る。

2. 授業の進め方

基本的には、テキスト及びスライドを使った講義及び学生による指導計画・学習指導案の作成発表並びに模擬授業等を実施し進める。また、模擬授業後の授業研究や学習課題に基づく意見交換等の学習活動も取り入れる。

3. 授業計画

| | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 講義概要説明（オリエンテーション） | 9. 総合的な学習の時間の評価と実際 |
| 2. 総合的な学習の時間の導入の趣旨及び目的 | 10. 総合的な学習の時間の課題設定方法 |
| 3. 総合的な学習の時間の目標及び内容 | 11. 総合的な学習の時間を推進するための体制づくり |
| 4. 指導計画の作成と内容の取扱い | 12. 総合的な学習の時間を推進するための環境整備 |
| 5. 中学校における総合的な学習の時間の授業展開 | 13. 総合的な学習の時間における模擬授業の進め方 |
| 6. 高等学校における総合的な探究の時間の授業展開 | 14. 総合的な学習の時間の模擬授業における課題解決 |
| 7. 総合的な学習の時間の年間指導計画の作成 | 15. 総合的な学習の時間とアクティブ・ラーニング |
| 8. 総合的な学習の時間の単元計画の作成 | |

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

テキストを使って本授業に関係する内容を予習・復習（1時間程度）するとともに、授業中に出された課題について次の時間までに自分の考えを発表できるようまとめておく。（1時間程度）

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回授業の最後に提示する課題の回答等を次時で取り上げ、前時の重要事項の確認を行うとともに、自己評価を行い学習の定着を図る。

学期末に実施するレポートについては、レポート課題解決に必要なキーワードや授業資料等について提示し、学習の振り返りができるようにする。

6. 授業における学修の到達目標

各教科等で身に付けた知識や課題解決力・発表力等を基に、本授業ではそれらを総合的に活用し、様々な事象を多角的・多面的にとらえ、身近な問題や社会問題に気づき解決しようとする探求力を身に付ける。

7. 成績評価の方法・基準

学期末に実施するレポートと平常点とを総合して評価する。評価の配分割合については、レポートの成績（50%）と平常点（50%）を基準に評価する。

平常点については、毎回講義内で提示する本時の課題への取組み状況及び授業後に提出された課題を解決するために使用した資料やその解決方法等から評価する。

8. テキスト・参考文献

文部科学省 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総合的な学習の時間編

文部科学省 高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 総合的な探究の時間編

9. 受講上の留意事項

学部 2 年生修了時の学業成績が、次の 2 つの「教育実習に関する学内規定」を満たしていること。

- (1) GPA (Grade Point Average) 値の総合が、2.0 以上であること。
- (2) 次の両方を満たしていること。
 - ① 教育の基礎的理解に関する科目の GPA が、2.0 以上であること。
 - ② 教科及び教科の指導法に関する科目の GPA が、2.3 以上であること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、学校現場（小・中・高）や教育委員会における実務経験を生かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。